



2021年10月29日

各位

会社名 株式会社日本触媒
 代表者名 代表取締役社長 五嶋 祐治朗
 (コード番号 4114 東証第1部)
 問合せ先 コーポレート・
 コミュニケーション部長 来栖 暁
 (TEL 03-3506-7605)

2022年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2021年8月5日に公表いたしました2022年3月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想について

2022年3月期 第2四半期(累計)連結業績予想値(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上収益	営業利益	税引前 四半期利益	親会社の所有者に 帰属する四半期利益	基本的1株当たり 四半期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2021年8月5日時点)	170,000	13,000	14,500	10,000	250.78
今回発表予想(B)	173,000	15,200	17,700	12,400	310.97
増減額(B-A)	3,000	2,200	3,200	2,400	
増減率(%)	1.8	16.9	22.1	24.0	
(ご参考)前第2四半期実績値 (2021年3月期第2四半期)	124,668	△1,188	△72	△1,183	△29.66

2022年3月期 通期連結業績予想値(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2021年8月5日時点)	325,000	22,000	24,000	16,000	401.25
今回発表予想(B)	355,000	24,000	28,500	20,500	514.10
増減額(B-A)	30,000	2,000	4,500	4,500	
増減率(%)	9.2	9.1	18.8	28.1	
(ご参考)前期実績値 (2021年3月期)	273,163	△15,921	△12,926	△10,899	△273.33

2. 個別業績予想について

2022年3月期 第2四半期(累計)個別業績予想値(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2021年8月5日時点)	105,000	7,500	11,500	9,000	225.70
今回発表予想(B)	105,000	9,500	13,600	10,900	273.35
増減額(B-A)	0	2,000	2,100	1,900	
増減率(%)	0.0	26.7	18.3	21.1	
(ご参考)前第2四半期実績値 (2021年3月期第2四半期)	81,931	△343	2,764	2,642	66.27

2022年3月期 通期個別業績予想値(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2021年8月5日時点)	205,000	12,500	18,000	13,500	338.55
今回発表予想(B)	215,000	14,000	20,000	15,000	376.17
増減額(B-A)	10,000	1,500	2,000	1,500	
増減率(%)	4.9	12.0	11.1	11.1	
(ご参考)前期実績値 (2021年3月期)	181,073	4,884	11,280	△19,650	△492.78

3. 連結・個別業績予想修正の理由

2022年3月期第2四半期累計期間(以下、上期)及び通期の連結業績予想に関して、当社は2021年8月5日に、アクリル酸及びアクリル酸エステルの海外市況上昇によるスプレッドの拡大や、販売数量の増加、在庫評価差などの加工費の減少などから、当初の業績予想値を上方修正いたしました。その時点においては、第2四半期以降でアクリル酸及びアクリル酸エステルの製品海外市況は落ち着くものと見込んでおりましたが、想定よりも製品海外市況の高騰が続きました。

これにより、2022年3月期上期の売上収益は、2021年8月5日の業績予想値(以下、前回予想値)に対し30億円増収の1,730億円となる見込みです。

利益面につきましては、原料価格の上昇よりも販売価格の上り幅が大きくスプレッドが拡大することや、一般管理費や研究開発費が減少することなどから、営業利益は、前回予想値に対し22億円増益の152億円となる見込みです。また、税引前四半期利益は177億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は124億円となる見込みです。

2022年3月期通期の連結業績予想につきましては、上期の状況を踏まえ、足下の原油価格の高騰に伴う原料価格の上昇を考慮し販売見直しを見直した結果、売上収益は、前回予想値に対し300億円増収の3,550億円となる見込みです。

利益面につきましては、上期の上振れに加えて、下期では在庫評価差などの加工費が減少する一方、原料価格の上昇を受けて機能性化学品のスプレッドが縮小することを見込んでおります。これにより通期の営業利益は、前回予想値に対して20億円増益の240億円となる見込みです。また、税引前利益は285億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は205億円となる見込みです。

通期業績予想の為替レートは110円/米ドル、130円/ユーロ、国産ナフサ価格は54,300円/キロリットルとしております。

また、2022年3月期上期および通期の個別業績予想につきましても、同様の理由から上記のとおり修正いたします。

4. 配当予想について

2022年3月期の配当予想につきましては、中間配当金は前回予想の1株当たり80円（普通配75円、記念配5円）から変更はありません。なお、期末配当予想については、原料価格の高騰や自動車減産等の影響を見極め、引き続き修正の要否を検討してまいります。

（注）上記の予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上